

3.5.6 電気特性

電源仕様

(50 / 60Hz)

項目 形式	電 気 特 性				配 線 仕 様									
	消 費 電 力 (kW)	運 転 電 流 (A)	力 率 (%)	始 動 電 流 (A)	電 源 容 量 (kVA)	手 元 開 閉 器				配 線 太 さ				
						配線用しゃ断器		B種ヒューズ		ユニット 電 源 用 (金属管)	室内外 接続線	アース線		
						開閉器 容 量 (A)	過電流し ゃ断器定 格容量(A)	開閉器 容 量 (A)	過電流し ゃ断器定 格容量(A)			室内側	室外側	
APJ150DC	5.5/6.7	19.6/22.0	81/88	135/122	11/10	50/50	50/50	60/60	50/50	5.5/5.5mm ²	2mm ² 2本	Ø2/Ø2mm	Ø1.6	
APJ212DC	7.4/9.0	26.5/29.8	81/87	207/188	16/14	50/75	50/75	60/100	50/75	8/14mm ²	2mm ² 3本	Ø2mm/5.5mm ²	Ø1.6mm	

- 注(1) 表中の電気特性はJIS-B8616条件にて運転した値を示します。
(2) 表中の配線太さは配線こう長20m、電圧降下を2%以内とした場合を示します。
配線こう長が20mを超える場合は内線規定により配線太さを見直してください。
(3) 本仕様にはヒータ、加湿器等は含まれておりません。
(4) APJ150DCの室外ユニット電源は単相 200V50 / 60Hzです。

進相コンデンサ容量

(50 / 60Hz)

項目 形式	進相コンデンサ容量 (µF)		総 合 力 率 (%)		運転電流 (A)
	圧縮機用電動機 (含室外送風機用電動機)	室内送風機用電動機	コンデンサ取付前	コンデンサ取付後	コンデンサ取付後
APJ150DC	100 / 75	30 / 20	81 / 88	92 / 95	17.3/20.4
APJ212DC	150 / 100	30 / 20	81 / 87	92 / 94	23.2/27.6

- 注(1) 進相コンデンサ選定および取付時の注意
1. パッケージ内部に取付の場合：55 に耐え得るものを選定してください。
2. パッケージ外部に取付の場合：取付場所の周囲温度を測定し、その温度に耐え得るものを選定してください。
(2) 進相コンデンサは圧縮機・送風機用電磁接触器の2次側に並列に接続してください。

3.5.7 能力特性

配管距離による能力補正

冷媒配管長（室内、室外ユニット間の配管の片道長）により、冷房能力の補正が必要です。

正味能力 = 図表の能力 × 補正係数

補正係数

運 転	相当長(m)	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65
		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.995	0.995	0.99	0.99	0.985	0.985	0.98	0.98

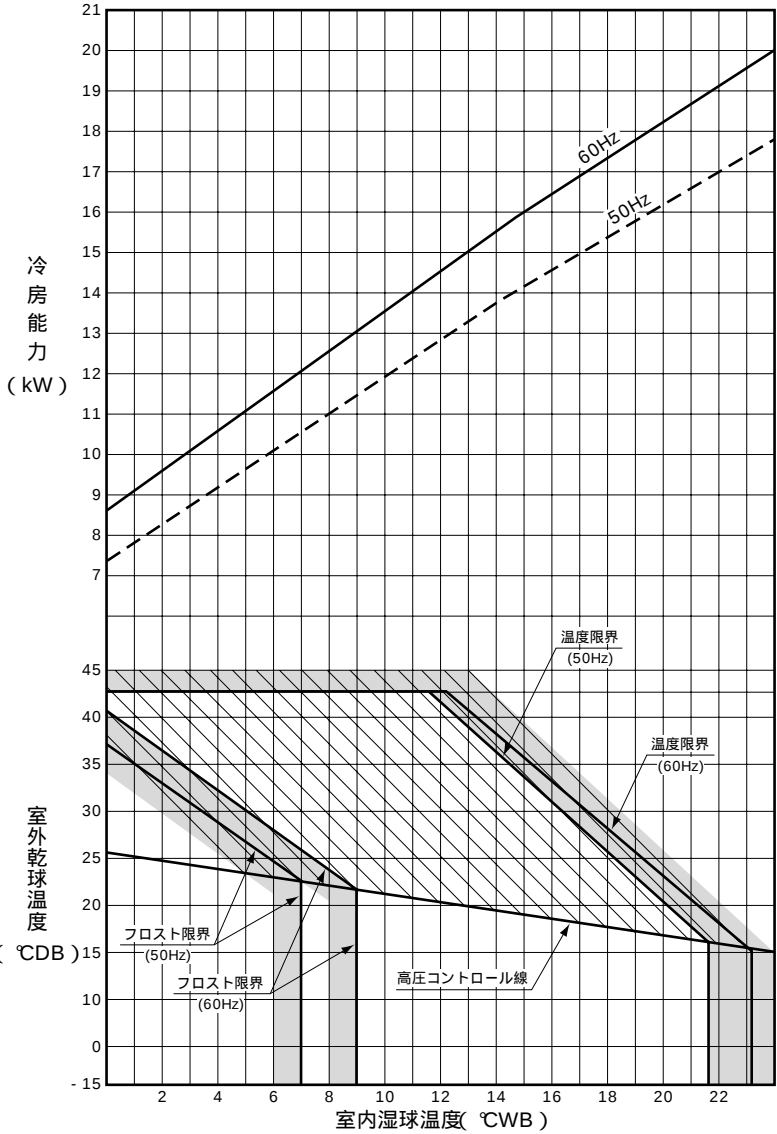
- 注(1) 相当長は下式により計算してください。但し相当長としてそれぞれの形式の配管距離制限長さ + 5m以内となるよう設置してください。
・ J150 相当長 = 実長 + (0.1 × 途中配管ベント数)
・ J212 相当長 = 実長 + (0.15 × 途中配管ベント数)

尚、室外ユニットが室内ユニットの下部にある場合その高さにより上表の値は下記の数値を差し引いてください。

室内、外ユニットの高さ方向の差(m)	5	10	15
調 整 係 数	0.01	0.02	0.03

APJ150DC

風 量	CR(コンタクトファクタ)
60m³/min	0.744



能力は、配管距離等により補正する必要があります。能力補正係数等については前ページをご覧ください。

APJ212DC

風 量	CR(コンタクトファクタ)
80m³/min	0.767

